



心 友

No. 10

令和6年9月20日（金）発行
四万十市立中村西中学校
文責（校長）小野川 憲

雨の運動会、応援ありがとうございました。～みんな一生懸命頑張りました！～

9月14日（土）に雨の中（途中かなり激しい雨になりました）、今年度の運動会を行いました。

当日は、急なプログラムの変更等で保護者・地域の皆様にはご迷惑をおかけしました。また、雨の中、グラウンドの水取や駐車場の整理、ジュースの販売や後片付けまで、本当にご協力ありがとうございました。生徒は3年生を中心に、夏休みから準備をはじめ、暑い中、練習や準備に取り組んできました。本番は雨の中でしたが、生徒は一生懸命・全力で競技に取り組み、思い出に残る運動会となりました。保護者やご家族の方々はもちろん、地域の方々にも多く来て頂き、最後まで生徒の競技に温かい応援を送って頂きましたことに、心よりお礼を申し上げます。

運動会は学校行事の中でも大きな役割を担っている行事です。当日までの取組を含め、競技や応援、生徒の係活動などを通して、生徒同士が協力し合い集団として高まっていくことと自己の成長が大きな目標です。終わったあとの生徒の皆さんの表情や解団式での言葉や歌を聞いていると、それぞれの団に充実感があり、一人一人にも達成感があつたように思います。この経験をこれからの学校生活に活かし、一人一人が充実した学校生活を送れることを期待しています。

※生徒会執行部が丁寧に作成したスローガンです。その思いを紹介します。

スローガンに込めた思い（生徒会執行部）

このスローガンが、「運動会」そして「つどい祭」での大きな目標で、私達にとってとても大きなイベントのひとつなので雲外蒼天！
太陽より熱く月より輝く！



が思い出として記憶にとどまるように頑張りました。雲外蒼天の意味は「どんな試練でも、努力して乗り越えれば快い青空が望める」であり、太陽より熱く月より輝くという言葉から快い青空＝大空、太陽、月、輝く＝星を汲み取りました。岸本先生のアドバイスもいただきながら、試行錯誤を重ね、無事にこのような素晴らしいスローガンを作ることができました。このスローガンは、「つどい祭」まで仕事が残っているので「つどい祭」でもこのスローガンのように学級や仲間と協力して素晴らしいものを創り上げたいと思います！



激しい雨の中、全力で頑張りました。



長縄跳びで65回を跳んだ3年1組です。

運動会を終えて。 ～各回長より～



オレンジ組応援団長 植田 英正さんより(3年1組)

僕は団長の割にどうしようもないぶきっちょです。それでも沢山の人の支えがあり無事に運動会を終えられました。オレンジ団の皆さんや他の団の皆さん、そして最も感謝すべき保護者の方、先生方、本当にありがとうございました。感謝の気持ちを言葉では表しきれません。By the way、皆さんは「If I try my best and fail, well, I've tried my best」というスティーブ・ジョブスの名言「ベストを尽くして失敗したら、ベストを尽くしたってことさ」を知っていますか？結果としてオレンジ団は惜しくも負けてしまいました。負けましたが勝敗より最も重要な結果を得られましたよね？そうです、全力を尽くしたという結果を得られました。ありきたりですが、今ある自分の課題に全力で立ち向かうことが重要ということです。

そして、次の世代の一、二年生のみんなへ。ぶきっちょな僕は去年の応援団長に憧れ団長になりました。誰がなってもいいのです、全力で物事に向き合える人なら誰でもいいです。結果なんて考えなくていい、何も残さなくていいから、自分を謙遜せず立ち向かってください。次は君ですよ！



青組応援団長 東 幸太郎さんより(3年2組)

僕は団長として自分の力不足で周りに迷惑をかけてしまったところもあったけど中学校生活最後の運動会で優勝しかできなかったけれど青団で最高の思い出を作ることができた。団長になり優勝という結果を残したときみんな喜びを分かち合えてとても嬉しかった。応援練習が始まると自分の想像以上に大変で困ることがとても多かった。でも運動会が終わるとみんなの笑顔が見れてやりきったなと達成感を味わうことができました。1、2年生も団長にならなくても応援団になることで悪いこともなくいい事だらけなので勇気を出して立候補して例えば自分にできないことがあったとしても周りや先生が助けてくれるので積極的に行動していきましょう。結果がどうであれ中学校生活の思い出は死ぬまで忘れないものになると思う。一年生は「やってみる」2年の時に経験して3年に活かしましょう。

2年生は自分の思い出に残るようにどんな形でも運動会を楽しもう。

